



コミュニティ

ひととまちをつくる情報誌

くさつ



写真 大條紘史



「イルミネーション in みなみくさつ」
点灯式典が 11 月 10 日（日）南草津駅西口
で開催されました。
*イルミネーション点灯期間
～来年 1 月 13 日（月）
17:00 ～ 21:00（毎日）

知らないと損！

～みんなが集まる場所で楽しむコツ～

公共の施設は、たくさんの人々が集う場所。
でも「使う」「集う」だけではもったいない。あなた
次第で「楽しむ」ことだって。

そんな「楽しむ術」を、すでに始めている皆さんに教えてもらいます。



イラスト 大村 恵

もくじ

- ②孫が先輩！
- ③楽しみ方いろいろロクハ公園
- ④軽音楽室からはじまる地域デビュー
- ⑤タイムスリップくさつ
俳句散歩「冬」
- ⑥⑦みんなとめん・めん 通算 40 号
- ⑧熊谷栄三郎の徒然草津 第 11 回

孫が先輩！

祖母と孫のアミカミュージカル

来春公演予定の「くさつ市民創作ミュージカル2013」の練習に汗を流す、山本さち子さん(祖母)と田村紅葉さん(孫)にミュージカル出演への思いをお聞きしました。

山本さんが、このミュージカルに参加するきっかけは何だったのですか？

(祖母)：今年の1月に開催された「くさつ市民創作ミュージカル2012」に、孫が出演させていただきました。2日間の公演とも観にいきました。大きな口を開けて歌い、舞台いっばいに踊る姿に元気づけられました。家では見せない孫の顔に頼もしさを感じ、涙が止まりませんでした。その時「私も、この子と一緒にステージに立ちたい」と思ったんです。すぐに応募しました。

ミュージカルの練習はどうですか？

(祖母)：参加してよかったです。と思います。プロの先生に直接指導していただけると

みんなの心が一つになりました(10/27 大略区民まつり)



田村紅葉さん(小2)と山本さち子さん

いう、めったに経験できない機会に恵まれたこと、セリフを覚えたりするなかで他の出演者と仲間になれる、いろいろな出会いが生まれました。それに、観るだけでは分からない裏方の苦労、日常ではできない勉強や経験をさせてもらえることは本当に貴重な体験だと感じています。



厳しい練習にも子どもたちは前進あるのみ！！

孫とは互いに家が近いので、一緒に家で練習しています。人生では私がおばあちゃんですが、ミュージカルでは、孫が先輩。いろいろ教えてもらっています。孫もとても楽しんでいてくれるようです。

おばあちゃんと一緒に出演は？

(孫)：おばあちゃんと一緒に参加できて楽しいです。ダンスやおしぼい、セリフを覚えるのは難しいけど、がんばっています。

このミュージカルへの思いを聞かせてください

(祖母)：草津に住んでいるので、

くさつ市民創作ミュージカル 2013

「月の涙～Biwa パール・ファンタジー～」

「月の涙」と呼ばれる琵琶湖の淡水真珠をめぐる3人の女の子の冒険物語

公演日：平成26年3月2日(日) *2回公演

①13:00開演(12:30開場) ②16:30開演(16:00開場)

会場：しが県民芸術創造館

(注)アミカホール工事のため、上演会場が変わります

チケット発売：12月21日(土)～ <アミカホールにて>

前売り 1000円 当日 1500円

草津アミカホール 561-2345 info@amicahall.net

ミュージカルの内容を身近に感じます。今回は鳥丸半島のハスでしたが、今回は琵琶湖の真珠がテーマ。淡水真珠の養殖を研究し成功された藤田さんの話など、自分の勉強にもなりますし、知らない人に草津の魅力をもっとPRすることもできます。このような素晴らしい企画にかかわらせてもらえて、その一員として孫と一緒に活動できてうれしく思います。



(夫)：一昨年の野鳥ウォッチング(コミュニティ事業団主催)に参加したのがきっかけで、趣味のカメラを始めたところで風景ばかり撮っていました。少し物足りなさも感じていたところで、野鳥も撮るようになりまし。ここ数年は毎日のようにロクハ公園に来ていますね。しかも

野鳥ウォッチングはいつごろからされているのですか



展子さん 東三郎さん

公園へはよく来られるのですか
(夫)：草津に来て35年になります。まだ子どもが小さいころは、ピクニックを楽しんだりしました。子どもが独立してからは、もっぱら夫婦で散策を兼ねて来るようにしています。

楽しみ方いろいろロクハ公園

ロクハ公園といえば夏のプール、春の緑に秋の紅葉…。いやいや、冬には冬の楽しみ方もたくさんあります。2組のご家族に冬のロクハの楽しみ方を聞きました。

珍しい野鳥を夫婦でウォッチング!

西條東三郎さん・展子さん夫妻



朝9時から珍しい野鳥を探しています(笑)。もう、夫婦で野鳥のとりこです。妻と一緒に写真に収めたり、双眼鏡で観察をしています。突然変異の白いヒヨドリを見つけたときには写真をテレビ局に送るとニュース番組で紹介してもらい嬉しかったですね。

ロクハ公園の魅力はどのようなところですか

(夫)：多くの自然が残っていて、四季の移ろいを感じられるところだと思います。雪の日なんかだと動物や鳥の足跡を発見したりして、一年を通して楽しめる、私たちにとって大事な場所です。
(妻)：京都に住んでいる義兄が来た時にロクハ公園に連れて行ったことがあります。「こんな素敵な公園が近くにあつてうらやましい」と言ってくれたのは嬉しかったですね。これからも珍しい鳥を探しに二人で通いたいと思っています。

子どもの成長に合わせて楽しめるステキな公園

米原さんファミリー



遊具の遊び心地はどうか?

ロクハ公園へはよく来られるのですか
(ママ)：近くに住んでいるのでロクハ公園にはよく来ます。プールやデイキャンプ、遊具はもちろん、イベントにも積極的に参加しています。

ロクハ公園でおすすめスポットはありますか

(ママ)：子どもがまだ小さいころは、ママ友からのお誘いで、よくスポーツ広場で遊んでいました。全体を見渡せるし道路に子どもが飛び出すことがないので安心して遊ばせられるのが良いですね。

ご家族にとってロクハ公園ってどのような場所ですか

(ママ)：ロクハ公園は、子どもの成長に合った遊具があるので、子どもたちも自然を身近に感じながら一年中楽しんでます。夏のプールが終わっても、冬には室内で落ち葉プールを楽しんでいます。普段、家ではできないことをできるのがいいですね。森の中の探検では、色々なものを発見できて大人も子どもも学べる良い場所だと思います。この冬にはダンボール迷路が新登場ということで、今から楽しみにしています。



「お父さん、ほら、あそこあそこ!」

インフォメーション

★落ち葉プールであそぼう!!

無料

～2月28日(金)

9:00～16:00

(12/28～1/4・月曜 休園)

室内幼児プール

*小学生以下対象

ダンボール迷路も登場

★野鳥ウォッチング

12月22日(日)・1月26日(日)

2月23日(日) 10:00～11:30

*バードコール作りもあります

ロクハ公園 564-3838

軽音楽室からはじまる地域デビュー



「退職後の時間を何か地域や他の人のために・・・」と考えているあなた。押入れの奥に若いころ夢中になった楽器は眠っていませんか？昔取った杵柄で「シニアバンド」でも結成して、地域や高齢者施設、病院・・・などなどあなたたちの出番を待っているところはたくさんありますよ。

あなたのデビューに向けて一つの提案です。

お風呂のイメージが強い「長寿の郷ロクハ荘」と「なごみの郷」には、実は軽音楽室があります。個人や少人数での練習にはピッタリです。



なごみの郷ではトランペットの練習

音楽室で腕をみがき、新しい仲間たちと有意義で楽しい時間を過ごしてみたいかがですか。

両施設とも利用料金(1室1時間につき)
市内300円 市外450円
なごみの郷 568・4753
ロクハ荘 563・5021



ロクハ荘ではシニアバンドが練習中

アマカホールの2階を楽しめ!

草津アマカホール...この名前のせいでしようか。草津アマカホールには「ホールしかない」と思っている人が多いようです。もったいない。

実はアマカホールの2階には、あなたの身近な活動をサポートする部屋もあるんですよ。ご紹介しましょう。

まずは文化教室1と研修室。机と椅子のほか、DVDプレーヤーやスクリーンもあつて、映像を使った研修会や会議、ちよつとした講演会にもおススメです。

文化教室2は作業台に流し台まであつて、書道・華道・ウラワアレンジメント・手芸・工芸なんでもこいです。

そして作業台は可動式、自由に配置を変えて心に残る展示会を演出してみましよう。

気の合う仲間たちとのサークルや同好会活動を通じて草津のまちを元気にしたい！
アマカホール楽しみ方のコツは2階にあります。



文化教室2で書の練習

草津アマカホール 561-2345

ロクハ荘リニューアル記念
“クリスマスコンサート&年忘れ紅白カラオケ歌合戦”

12月22日(日) 11:00 ~ 15:45

大広間

【午前の部】クリスマスコンサート 11:00 ~ 12:10

・和太鼓・よさこい踊り・ハンドベル・ポップスバンドなど

【午後の部】年忘れ紅白カラオケ歌合戦 13:00 ~ 15:45

・カラオケ大会 ・歌謡コーナー ・ビンゴゲーム



タイムスリップくさつ

～草津市30年を振り返る～《第1弾》 コミュニティ事業団設立30周年企画

コミュニティ事業団の設立は昭和59年。おかげさまで来年30周年を迎えます。この30年間、草津市内では様々な出来事がありました。住宅開発が進み人口が増加するなど著しい都市化を遂げてきました。いつも見慣れたこの街もその時々起こったことが積み重なって今があります。

このコーナーでは、30年前にタイムスリップ。草津の30年を振り返ってみます。

京都までス～イスイ 『京滋バイパス』が開通しました

昭和59年(1984)東草津4丁目で京滋バイパスの開通式が行われました。京滋バイパスは、国道1号線の「草津ー京都間」の混雑を緩和するために建設され、この年に草津市域区画が開通、昭和63年には宇治市巨椋(おぐら)までが開通しました。さらに、平成15年には名神高速道路の「瀬田東JCTー大山崎JCT(京都府大山崎町)」間の別ルートとして完成しました。



30年前の東矢倉1丁目付近

古来より人とモノが集まる交通の要衝として発展してきた草津。京滋バイパスは一日あたり約4万台の自動車交通量を誇る物流や通勤など今では無くてはならない重要な国土幹線の一つとなっています。



京滋バイパス・国道1号交通量 (台/12h)

	S58	S63	H22
京滋バイパス	—	18,490	26,358
国道1号	22,682	17,965	16,351

(写真提供:草津宿街道交流館 データ:道路交通センサス)

10月に入っても猛暑日を経験した今年ですが、時期が来ればやはり寒くなりました。寒くなれば恋しいのが火の温もり、そして人の温かさです。

今日は蕪村の母親への思慕の念を詠んだ温かい俳句を味わってみましょう。(橋詰辰夫)

俳句散歩 冬

蛇足ながら、「……ありとは見えて」のあたりは上五の埋火にかかり、また母が今ここにいないような感じがするが、でも今はもう側にいない母と下五にもかかっています。皆さんのお袋さんは温かいですか、それとも熱いですか？



でも、母親が亡くなったのは遥かに遠い昔となつてしまった、今一度あの温かいお袋さんの側に座って一緒に火鉢に当たりたいなああと亡き母への思いを募らせているのです。今は冬でも家中暖房が行き届き、子どもたちは「ゲームやスマホばかりせず、早く勉強しなさい！」なんて角を立て熱くなつたお母さんに叱れているのでしょうか？

蕪村は、うすら寒い冬の夜、埋火のある火鉢で暖をとりながら、幼いころに母親にもたれかかって火鉢に当たっていたのを思い出しているのです。埋火の穏やかな暖かさと母親の笑顔にうつとりとして、母の手の上に小さな手を重ねて時にはうとうととしていた幼いころの蕪村。何と幸せなあの時。

与謝蕪村(1716～1783)は、「存じの俳人であり、また画家でもありました。埋火と言われても、今の若い人は分からないかも知れませんが、火鉢や囲炉裏の灰に埋めた炭火のことです。強く勢いのある熱い火ではありませんが、柔らかく穏やかな温かみを保つてくれます。

埋火の

ありとは見えて 母の側

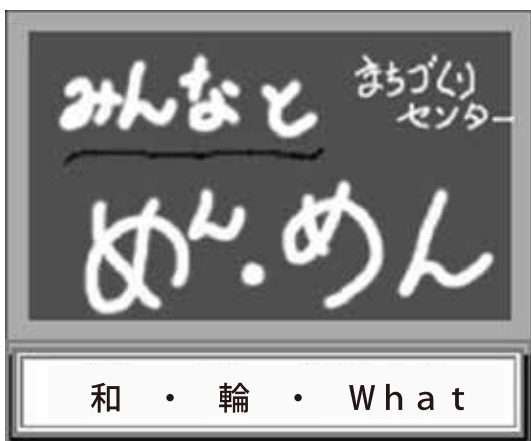
与謝蕪村

シヤレを好み、人々に親しまれた俳諧の祖・山崎宗鑑。宗鑑さん生誕の地である草津では毎年、宗鑑忌俳句大会も開かれる俳句ゆかりの地。先人たちが五・七・五に込めた思いや句の背景を知れば、グッと深まる言葉たち。そんなゼイタクな時間を届ける「俳句散歩」をどうぞ。

まちづくりセンター運営協議会の情報紙「みんなとめん・めん」が、38号から本誌と合わさり、より多くの草津市民の皆さんに、その取り組みや団体の活動を紹介させていただくことになりました。

運営協議会は、全体会の他、施設・研修・情報の3つの部会があり、まちづくりセンターや『まち』のことを考えながら、みんなで一歩ずつ成長しています。

毎年、登録団体の交流をはかる周年イベントを開催しています。ぜひ、市民活動団体のみならず、まちづくりセンターの輪に入り、団体のパワーアップにつなげてみませんか？



学びあおう
育てあおう
みんなのわ



まちづくりセンター運営協議会
研修部会長 重原 文江さん

自分の興味や関心のある分野のグループや団体に所属して活動するのは、風通しや居心地も良く意見の大きな違いや衝突はあまりないかもしれません。
しかし、少し踏み出して「まちづくり」に関わってみるのも今までは違う視点や広がり、楽しさも出てくるかもしれませんよ。
その場所が「まちづくりセンター」です。私が研修部会に所属してきたの実感です。2ヶ月に1回部会を開いています。今年のテーマは『学びあおう・育てあおう・みんなのわ』です。
皆さんもまちづくり活動に参加しませんか。お待ちしております！

防災・減災社会の実現・災害からの復興に必要なこと

まちづくりセンター運営協議会(研修部会主催)は11月26日、研修のため「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」「沢の鶴資料館」を訪問しました。



人と防災未来センターでは、地震破壊のすさまじさを大型映像と音響で追体験した後、復興過程の生活・まちの姿について解説されたメッセージボードや写真を見学し、ワークショップなどを通じて防災・減災について学びました。

防災・減災社会の実現へのまち単位での取り組みの重要性や、地域の人と人とのつながりが復興に向けて大きな心のパワーとなることを改めて感じました。

震災で全壊した「沢の鶴資料館」は、3年7ヶ月をかけ免震システムを施し、かつて兵庫県「重要有形民俗文化財」の指定を受けた昔ながらの姿そのままに再建されました。力強い復興ぶりに元気をもらった気がしました。



草津市母親大会連絡会
大竹美知子



まちセンの仲間を紹介します

着物リフォーム

今、着物リフォームがブームです。

どなたの家のタンスの中にも、眠っている思い出の着物があると思います。

着物に触れる喜び、創作の楽しさを味わいながら、日本の布の歴史、文化を学ぶことで古着の価値を再発見し、資源の再利用を進めています。古い着物ですと、シミや虫食いがあっても仕方ありません。

それをパッチワークにしたり、何枚かをはぎ合わせたりしているの、洋服地にはない絵柄や1枚布では出せない斬新な表現ができます。古い着物が新しい洋服や小物に生まれ変わります。身近に、気づかないうちに、楽しみながらエコに取り組んでいます。



時間：月2回
第1・第3月曜日
10:00～12:00

子育て支援グループ はな＊はな

初めての子育てで不安がいっぱいのお母さんを支えて仲間作りをサポートする目的で今から12年前に結成しました。

「はな＊はなる一む」には、生後2ヶ月から1歳半くらいの子どもを連れてお母さんが集ってこられます。赤ちゃんとのふれあいを大切にとベビータッチングタイムを持っています。また草津コミュニティ支援センターで「ちっちゃな町の図書館」を運営し、絵本の貸出し、読み聞かせを開催しています。

日時：毎週金曜日
10:30～12:00(はな＊はなる一む)
参加費：1回200円
※年3回程度
(はな＊はな
スペシャル)



草津エコー

草津で一番古い、というより歴史のある女声合唱団です。来年、創立35周年を迎え、4年ぶり第7回目の演奏会を秋に予定しています。

草津合唱祭や草津市民音楽祭、その他地域の催しに参加して草津の皆様と共に歌う楽しさを味わっています。平均年齢が毎年1つずつ上がっていつてしまうのが悩み？

でも、気持ちと歌声だけはいつまでも若くありたいと、日々練習に励んでいるのです。

私たちの仲間になってくれる方を随時募集しています。ぜひ、練習をのぞきにきてください。

時間：月2回 第1・4火曜日 午後
場所：まちづくりセンター2F



くつろぎヨガ

名前のとおり、くつろぎヨガです。自分の身体にあわせてゆったりと、身体が悲鳴をあげない程度に・・・自分自身にあったペースで楽しみながら、時にはおしゃべりもしながらゆったりとした気持ちでおこなっています。

私たちは、公共施設に出向いて腰痛・肩こり解消のヨガ体操を広めています。

また、まちづくりセンター及び市内のイベントにも参加しております。

興味をお持ちの方は一度のぞいてみてください。入会ご希望の方はまずは体験してください(無料)

日時：月3回 土曜日
10:15～
場所：まちづくり
センター2F



問合せ先：草津市立まちづくりセンター TEL/562-9240 FAX/562-9340 MAIL/machi@kusatsu.or.jp

熊谷栄三郎の

徒然
草津
つれづれくさつ

第11回

きよし

「なんえ、あれ。その、草津駅西口を出たところの交差点の信号、きよし、きよし言うてるで。氷川きよしのきよし」。西口近くのまちづくりセンターで出会った栗東市のユキコさんが、不思議なことを言うのである。

そこは西口近辺ではもつとも歩行者が多い交差点だ。私も毎日のように渡る。が、歩行者用信号がきよし、きよしなどと歌手名を連呼してるのは聞いたことがない。

すぐ確かめに行った。着いたときは東西に渡れる青信号で、カッコウ、カッコウと鳴っていた。しばらくして信号が変わり南北に渡れるようになった。

と、鳴り始めたではないか。確かに「きよし、きよし……」。何回も、信号が変わるのを待つては、聞き耳をたてた。

分かった。本来「ヨ、ピヨ」という小鳥の声の設定のはずだけど、「ヨ」のはあまりにも強く「ヨツ、ピヨツと鳴くので、聞きようによってはキヨシ、キヨシと聞こえてしまうのだ。不思議なこと、いつたんそう聞こえてしまうと、そうとしか聞こえない。以後、こ

熊谷栄三郎



の交差点を渡るときは「きよし、きよし」の音を確かめたり、歌手の顔を思い浮かべないと気がすまないようになってしまった。

が、冬至も近い日のことである。交差点で例の音を待つていて、ふと信号の彼方の南の空を見上げたら、ビルその後に見事な夕焼けが広がっていた。この季節、夕日は意外なほど南寄りに沈む。西方浄土というより南方浄土やな、と思ったとたん、信号音が新しい意味を帯びて空の彼方から聞こえ始めたのである。「(こっちへ)来よし、来よし」と。

という話をしていたら、京都のサカイという奥さんが「あなた、信号で遊んどいたらあかん。氣をつけて渡らんと、ほんまに交差点は危ないねんで」。で、氷川きよしのきよしに戻そうと努力しているけれど、やっぱり来よし、来よしに聞こえる。困っている。

編集後記

コーキョーシセツ…。公共施設。口にしても、字に書いてもおかたい。子どものころから「つまない所」のイメージが正直なところ。街の中にあつて、家でもお店でもない場所。「いらっしやいませ」でなく「こんにちほ」。「お客さま」じゃなくて「利用者」。ここはどこでしょう？なんてクイズにでもなりそうです。

公共施設に勤めながらも、どこか「おかたいところ、つまないところ」といった私のイメージを払拭してくれた一冊の本が、「私のだいじな場所」(発行:ハンズオン埼玉)。そこを使う人たちの思いと行動が施設を動かしていく様が紹介されています。なにより公共施設を「私のだいじな場所」として捉え直したところに目からウロコです。

今、草津の施設も変わりつつあります。まだ「公共施設はおかたい、つまない」なんて思っているあなたにぜひ来てもらいたい。今日からそこは、あなたの「だいじな場所」になるかもしれません。(C)

発行/ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興課
〒525-0037 滋賀県草津市西大路町9-6
まちづくりセンター内
TEL/077-565-0477 FAX/077-562-9340
Mail/com-com@mx.biwa.ne.jp URL/http://kusatsu.or.jp



イベント情報



☆平田ゆりとつくるクリスマスコンサート

12月25日(水) 19:00 開演(18:00 開場)
会場: 栗東芸術文化会館さくら 大ホール
チケット: 前売り 800円 当日 1000円
問合先: 草津アマカホール 561-2345

☆くさつ子どもフェスタ 2014

1月19日(日) 10:00 ~ 13:30
野村運動公園グラウンド・市民体育館
(荒天時は市民体育館)
《内容》もちつきコーナー、手づくりコーナー
昔遊び、スポーツコーナー など
* 当日のボランティア募集中!!
まちづくり振興課 565-0477



市民編集ボランティア募集

コミュニティくさつの取材や編集をおこなっていただく市民編集ボランティアを随時募集します。草津市民の方ならどなたでも応募いただけます。(公財)草津市コミュニティ事業団まちづくり振興課までお気軽にお問い合わせください。

